

第24回人文学・社会科学特別委員会
2024年8月22日

JSPS人文学・社会科学データインフラストラク チャー強化事業の活動状況



東京大学 社会科学研究所

報告：山田太造（東京大学史料編纂所）

人文学・社会科学データインフラストラクチャー強化事業

■概要

- 前提:「人文学・社会科学データインフラストラクチャー構築推進事業」の成果
 - 2018-2022年度 (人文学は2019年度から)
- 人文学・社会科学のデータ共有・利活用を促進するデータプラットフォーム等の基盤のさらなる充実・強化
- 研究者がともにデータを共有しあい、国内外の共同研究等を促進することを目指す

■2023年10月開始

構築推進事業での取り組み

■中核機関(JSPS)の取組

- 1. 人文学・社会科学総合データカタログ(JDCat)の構築
- 2. オンライン分析ツールの研究開発
- 3. 人文学・社会科学におけるデータの共有・利活用のための手引きの策定
- 4. 研究者がデータを共有し利用し合う文化の醸成を目指した啓発活動

■拠点機関の取組

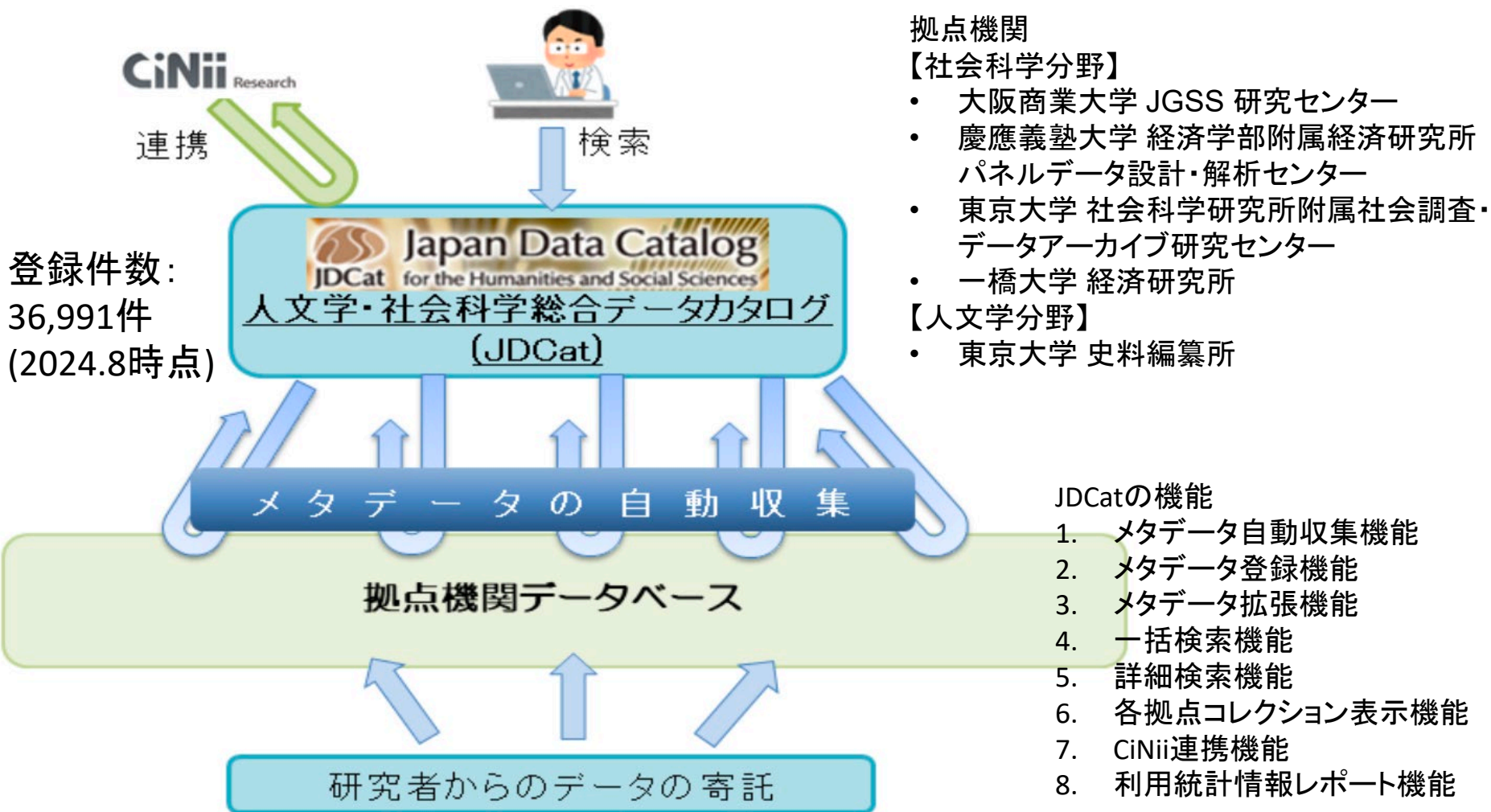
- 1. データアーカイブ機能の強化(データ「共有化」)
- 2. 海外発信・連携機能の強化(データ「国際化」)
- 3. データ間の時系列等接続関係等の整備(データ「連結化」)

詳細: 人文学・社会科学データインフラストラクチャー構築推進事業の成果と今後の展望(報告書)

<https://www.jsps.go.jp/file/storage/general/j-di/data/houkokusyo.pdf>

JDCat

人文学・社会科学分野のデータを分野横断的に一括検索できるデータカタログ
令和3(2021)年7月より運用を開始



JDCat 検索ページ

言語: 日本語 ▼



人文学・社会科学総合データカタログ
Japan Data Catalog for the Humanities and Social Sciences

[トップ](#) [お知らせ（更新情報等）](#) [JDCatとは](#) [JDCat利用マニュアル](#) [拠点機関のリンク](#) [データ共有のための手引き](#) [JDCat分析ツール](#)

トップ

入力後、Enterキーを押下し検索してください

Q 検索

▼ 詳細検索

☒ 全文 ☐ キーワード

トピック ▼

Select... ▼

配布者 ▼

- ☒ 一橋大学経済研究所(34293)
- ☐ 東京大学史料編纂所(1799)
- ☐ SSJ データアーカイブ(784)
- ☐ JGSS研究センター(83)
- ☐ 慶應義塾大学経済学部附属経済研究所
所パネルデータ設計・解析センター
(32)

検索結果

1 - 20 of 34293 results.

表示順: Title ▼ asc ▼ 表示数 20 ▼

10万円以上ノ台湾輸入重要品国別：日本帝国第十七統計年鑑 (明治31) 表285

一橋大学経済研究所
【対象期間】 明治29年-明治30年

10万円以上ノ台湾輸入重要品国別：日本帝国第十八統計年鑑 (明治32) 表289

一橋大学経済研究所
【対象期間】 明治29年-明治31年

10万円以上ノ台湾輸出重要品国別：日本帝国第十七統計年鑑 (明治31) 表284

強化事業における体制(1)

人文学・社会科学データインフラストラクチャー強化事業実施体制

日本学術振興会

役割
分担

情報
共有
・
『手引』
作成
提供
等
緊密
連携



中核機関
東京大学



FAIR
原則

国内外
研究機関

事業共同
管理責任

中核機関運営委員会（常設：R5～R9年度）
委員長：史料所長 副委員長：社研所長

予算管理

人文学
史料編纂所

前近代日本史情報国際センター
SHIPS

相乗
運営
実績

社会科学
社会科学研究所

社会調査・データアーカイブセンター
SSJDA

大学全体
DX推進

専門家配置（複数・両分野）
（JDCatに最精通・メタデータ連携）

データ受入
受託豊富

学内の人文学・社会科学・情報学専門家等も事業強化に貢献

密接
円滑
連携
助言
協力

**関係
機関**

本強化事業
＋
構築推進事業
拠点機関

連携・共有・普及

国立情報学研究所(NII)

データシステム拠点

1. 人社データインフラ・フォーラム
対面＆オンライン開催（年1回・R5～9年度）
※中核機関・NIIからの情報提供・各拠点の取組共有等
2. 人文データインフラ・フォーラム（年1回）
3. 社会科学データインフラ・ワークショップ（年1回）

強化事業における体制(2)

■中核機関: 東京大学

- 史料編纂所
 - 前近代日本史史料に関するデータ
- 社会科学研究所
 - 労働調査・社会調査に関するデータ(SSJDA)

■拠点機関

- 神戸大学附属図書館
 - 新聞記事・震災関連・貴重書に関するデジタルデータ
- 国立文化財機構 奈良文化財研究所
 - 「全国遺跡報告総覧」(埋蔵文化財の発掘調査報告書)におけるデータ

■システム担当機関

- 情報・システム研究機構 国立情報学研究所

■関係機関

- 構築推進事業での拠点機関など

取組

■中核機関

- JDCatの運用・改修、メタデータスキーマや統制語彙の妥当性に係る継続的な検討等
- 「データ共有のための手引き」の妥当性に係る継続的な検討等
- 拠点機関との連携及び関係機関との調整

■拠点機関（中核機関も同様）

- JDCat との連携
- 他機関のデータ受入や受託
- データ利活用の促進
- 中核機関との連携

中核機関としての役割・取組

- 東京大学内の人文学・社会科学・情報学専門家等の協力も随時求めながら、中核機関の運営に責任をもってあたる。
- 運営委員会:原則毎月開催, 対面, オンライン(2024/7~)
 - 2023/9(pre), 10, 11, 2024/1-7
- 活動状況に関する情報共有や意見交換
 - JDCat普及のための「人社データインフラ・フォーラム」(年1回以上開催)、2024/3/11
 - 拠点機関の実務担当者との「人文・社会科学合同ミーティング」(年1回)等, 2023/12/20, 2024/3/11
 - 事業報告(国内外の学会等), e.g.: じんもんこん, JADH, PNC, EAJRS, IASSIST, EDDI, ICPSR, NASSDA,...
- 拠点機関・関係機関とのやりとり・連絡窓口
- ウェブサイト開設
 - <https://www.hi.u-tokyo.ac.jp/di/>
- 拠点機関との調整: JDCat用のメタデータ作成・管理・ハーベスト等
 - システム担当機関であるNIIとともに, 各拠点機関への訪問
 - 神戸大学附属図書館, 2024/2/6, 2024/6/18
 - 奈良文化財研究所, 2024/2/14, 2024/6/19
- “戦略会議”:システム担当機関であるNIIと情報交換
 - 2023/12/1, 2024/1/31, 2024/4/10, 2024/6/5,

“データインフラ”としての整備

- 中核機関・拠点機関・システム担当機関が協同して取り組む
- 構築推進事業からの継続および発展
- データ管理環境の整備
 - DOI付与
 - 利用条件設定
- 他機関データとの連携
 - API
 - メタデータの整備
- 「手引」の改訂
- JDCatメタデータスキーマの再検討

これまでの取り組みを踏まえて

■ 人文学・社会科学のデータの特徴

- 古くならない, “古い”データであっても利用する(できる)
- 最近のデータのみならず.

■ データカタログとしての機能の重要性

- 人社データが統合されたカタログ: 代替がない
- メタデータスキーマ
 - 人社データを一元的に検索・提示できるスキーマ(JDCatメタデータスキーマ)の存在
 - メタデータマッピングの確立: データ整備から公開までのフローの確立
 - 人文学データ: JPCOARスキーマ → JDCatスキーマ
 - 社会科学データ: DDIスキーマ → JDCatスキーマ

■ データ基盤・環境の必要性

- (メタ)データ整備が継続して, 提供できる環境が重要
 - 本事業以外に存在しない
- アクセスポイントとしてのJDCat: 代替がない

■ さらなる有用性の確保のため: データの追加・提供

- データ公開したいという要望: データ保持機関(例えば文書館・博物館)から
- “データの網羅性”: (時間・空間等の切り口で)他のデータ(セット)との比較ができるようになれば, 利用したいデータの有用性が更に高まる(はず)
 - 網羅性を高めることで, 人社のデータを組み合わせた利用の可能性 → 異分野融合研究の促進へ

■ 上記を達成するには事業の継続が重要